

島農14人に修了証

介護職員初任者研修

生活福祉科

島原農業高校(前田彦彦校長、278人)の生活福祉科3年のうち、福祉・看護コースの女子生徒14人がこのほど「介護職員初任者研修」を修了し、先月27日、前田校長から修了証明書が

授与された。県から指定された実施校のみで行われる回研修は、従来の訪問介護員(ホームヘルパー)2級に相当するもので、介護職を目指す人にとって入門となる資格。

生徒らは昨年12月からことし7月まで、130時間にわたって外部講師による講座や実習に参加し、介護の基礎知識や心構えなどを学んだ。

回校看護室で行われた修了式には、修了者14人や前田校長、担当教諭、指導に当たった介護福祉会の関係者など約20人が出席。前田校長は生徒一人ひとりに修了証明書を手渡し、「本日はめでたく修了証を手にした14人の皆さん、おめでとう。修了証は皆さんのこれ

までの頑張った証しであり、これから社会に出るうえで自信と誇りに繋がるもの。これからも介護や福祉に関する学びをやめず、自分自身を高めていって欲しい。皆さんが学んだ知識、技術、経験とあわせ、常に人としての優しさや思いやりの心を持った社会人となるために、考えて動く『孝動(こうどう)』を意識して」と期待を寄せた。

このあと、卒業後は理学療法士の資格取得を目指すし、県内の専門学校に進学予定の大平麻琴さん(18)が修了者を代表してあいさつ。「今回の研修で学んだ『傾聴』『受容』『共感』の姿勢を今後の学習や進路でいかしていく」と、決意を新たにしていた。



第8回介護職員初任者研修修了式

介護職員初任者研修修了証明書を手にほほ笑む島農生活福祉科の生徒ら